

## 令和2年度修正「松戸市地域防災計画素案」についてのパブリックコメント（意見募集）手続き実施結果について

### 【パブリックコメント（意見募集）実施結果概要】

1. 意見の募集期間 令和3年1月15日（金）から2月15日まで（月）
2. 意見提出方法 持参、郵送、FAX、Eメール、電子メール（意見提出フォーム）
3. 資料の閲覧方法 松戸市ホームページ、危機管理課、行政資料センター、まつど市民活動サポートセンター、各支所及び図書館（本館・分館）
4. 意見提出者 2名
5. 意見総件数 14件
6. 回答件数 14件
7. 集計結果

### 【意見内容の内訳】

該当箇所	件数
計画全体に対する意見 （その他意見を含む）	2件
震災編 第2章 災害予防計画 第4節 防災体制の整備計画	11件
大規模事故編 第2章 大規模事故対策計画 第6節放射性物質事故対策計画	1件
合計	14件

8. 意見内容及び回答 別添のとおり

No.	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方	修正有無
1	全体	日頃より、松戸市の防災対策を進めていただきありがとうございます。今回、『松戸市地域防災計画』の改正項目（5）に、「女性視点の防災力強化」が入ったのを評価します。 東京2020オリンピック・パラリンピック組織委員会の森元会長から、「女性の理事を増やすと会議が長くなる」等と差別的な発言がありました。政策決定の場への女性参加が欠かせない時代になっています。女性が、避難所等での単なる下働きではなく、地域防災の施策の決定、避難所の設置や運営に積極的に関わられるようにしていただきたいと思っております。	避難所を開設・運営するにあたり、女性の視点を反映していくことは、避難された女性のもとより、様々な方に安心感を与え、安定した避難所生活の確保につながることから非常に重要であると認識しております。いただいたご意見を参考にし、女性が防災計画や避難所の運営等に積極的に参加いただけるよう取り組んでまいりたいと考えております。	無
2	全体	○防災計画の、「震災編、風水害編、大事故編」の三つともに「女性視点の防災対策を強化する」を入れてほしい。 → 震災編には、「女性の視点」項目が入っているのですが、風水害編と大事故編（大火災や放射能災害）の方には全く文言が入っていません。「女性視点の対策については、震災編に準ずる」というような記述がほしいと思っております。	地域防災計画震災編に記載のある「女性視点の防災対策」については、以降の風水害編、大規模事故編全てに適用されるものと認識しておりますが、いただいたご意見を参考に、わかりやすい記述に努めてまいります。	有
3	第2章 災害予防計画 第4節 防災体制の整備計画7、業務継続・女性視点の防災体制の充実 (2) 女性視点の防災体制の充実①～⑦	「女性防災リーダーや女性の防災の担い手を育成するため、男女共同参画課、松戸市男女共同参画推進団体等と連携し、女性視点の防災に関する知識の普及、啓発、ネットワークづくりを推進する。」について ○「業務継続・女性視点の防災体制の整備」と二つをいっしょにせず、項目を分けて、「7、事業継続の視点での防災体制の整備」と「8、女性視点の防災体制の整備」と、はっきりと分けていただきたい。	ご意見のとおり修正いたします。	有
4	○「女性防災リーダーや女性の防災の担い手を育成するため」だけではなく、「地域防災計画を男女共同参画の視点で作るために」という文言も入れていただきたい。	ご意見のとおり修正いたします。	有	
5	○望ましくは男女同数ですが、女性の委員の割合は4割をめざすと明記していただきたい。	松戸市防災会議等への女性委員・役員の割合を4割以上にする等、数値目標を設定することにつきましては、地域防災計画の策定趣旨として業務の大綱を定めるものであることから、ここでは数値目標を設定せず、男女共同参画プラン等で女性委員・役員の割合を数値目標として設定することといたします。	無	
6	○「女性部会」については「設置する」と明記していただきたい。	いただいたご意見を参考に、地域の取り組み状況を研究してまいりたいと考えております。	無	
7	○「②災害対策に関する検討会議、委員会等に女性委員、女性部会を確保」とありますが、松戸市地域防災計画を定める『松戸市防災会議』のメンバーにも、女性の割合を増やすと書いていただきたい。 ○なお、『松戸市防災会議』の委員の女性の割合の目標として、まずは3割、次には4割、将来的には男女同数をめざしていただきたい。	松戸市防災会議等への女性委員・役員の割合を4割以上にする等、数値目標を設定することにつきましては、地域防災計画の策定趣旨として業務の大綱を定めるものであることから、ここでは数値目標を設定せず、男女共同参画プラン等で女性委員・役員の割合を数値目標として設定することといたします。	無	
8	○『松戸市防災会議』に、「女性部会」を設置して女性の視点での防災施策について提言できるようにしていただきたい。	いただいたご意見を参考に他市の事例など研究してまいります。	無	

9	第2章 災害予防計画 第4節 防災体制の整備計画7、業務継続・女性視点の防災体制の充実	○ 「④自主防災組織、避難所運営委員会等に女性役員や女性部会を確保」とも書いてありますが、努力目標ではなく「委員・役員の最低4割（将来的には男女同数）は女性とする」「自主防災組織、避難所運営委員会等に女性部会を設置する」と明記していただきたい。	松戸市防災会議等への女性委員・役員の割合を4割以上にする等、数値目標を設定することにつきましては、地域防災計画の策定趣旨として業務の大綱を定めるものであることから、ここでは数値目標を設定せず、男女共同参画プラン等で女性委員・役員の割合を数値目標として設定することといたします。	無
10	(2) 女性視点の防災体制の充実①～⑦	○避難所でのセクハラや性被害を防ぐための対策を具体的に示していただきたい。	地域防災計画は処理すべき業務の大綱を定めるものであることから個別具体的な対策については市で作成している避難所開設・運営マニュアルへの記載や、各避難所運営委員会での議論を通じて検討してまいります。	無
11		○避難所におけるセクハラ、性被害についての対策としては、「⑦に女性相談窓口と女性職員を配備」とあるだけです。女性警察官および女性職員がパトロールする等と入れていただきたい。	いただいたご意見を参考に避難所開設・運営マニュアルへの反映について検討をさせていただきます。	無
12		○男女別のトイレ、男女別の更衣室の設置は必須だと思いますし、女性（特に若い女性）だけで避難している場合には、男性が立ち入れない区域の設置等を検討していただきたい。	市で作成している避難所開設・運営マニュアルへの記載検討や、各避難所運営委員会での議論を通じて定めていければと考えております。	無
13		○新型コロナウイルス感染症対策を考慮した「避難所開設・運営マニュアル」の配布と同じように、女性の視点での見直しをした「避難所開設・運営マニュアル」を市内全域に配布するとしていただきたい。（令和2年7月に策定されたコロナ感染症の流行を受けて策定されたマニュアルでは、16ページ「⑤避難者を受け入れる前に避難所を運営する人と役割を分担する」に「女性のニーズを反映されるよう避難所運営委員に女性も入れる。」とありますが、女性が一人二人、入れれば良いわけではありませんので、委員の最低3割（将来的には4割から5割）は女性とするとしていただきたいと思います。）	いただいたご意見を参考に避難所開設運営マニュアル等の更新について検討をさせていただきます。	無
14	大規模事故編 第6節放射性物質事故対策計画	大規模事故編 第6節放射性物質事故対策計画について 地震国日本で大地震が原発を襲えば必ず原発事故が発生し、過酷事故が繰り返されるでしょう。基準地震動は恣意的に低く抑えられているのです。 備え対策をいくら行っても、日本で原発を運転するのは時限爆弾を抱えるようなものだと思います。 この計画では市民の被ばく管理（測定・評価・記録）が欠落しており不安です。 福島原発事故を鑑み、放射能事故に特化した避難訓練を実施してほしいです。	いただいたご意見を参考にさせていただきます。	無